



休日 日曜祭日  
郵税十五錢 一部二錢  
廣告料一行四〇錢  
發行所指定廿錢  
發行所 印刷部  
牛谷 政  
福島縣平町大町  
新いわき新聞社

### 愛谷堰畔に於ける 今日喜びの竣工式

平町外五ヶ村の水田六百餘町歩に灌漑を恵む愛谷堰改修の竣工式は昨日所報の如く今二時十八日午前十時夏井川の清流を堰へる堰の堤畔に於て舉行された式は関係部員千餘に達する會同で縣内務部長(知事代理)外耕地課長、國縣會議員その他來賓百餘名の列席に所定の儀を擧げ式閉ちて後宴に移り主任技師堤技師の作に於ける愛谷堰竣工の歌その他青年の余興相撲等打揚ぐる花火に景氣を添へ興を沸かし同地附近は時ならぬ賑はひを呈したが組合から贈られた管理村長阿部瀧藏、工事委員長青木清太郎、青木清太郎、兩氏の感謝狀左の如し



谷江堰灌漑普通水利組合農業者代表 農業水利改良事業費

### 花角力大會

産業博覧會場であすから開く  
産業博覧會場では廿九日から第二會場である山形縣谷地町東町阿部源松キキが二十日死亡したことで廿八日郷里で葬儀を営むこととなり源松からつねの歸宅方を打電して来たが應ぜぬとして廿七日源松から平野へつねの説諭方を願ひ出た



工事委員長 青木清太郎氏  
管理村長 阿部瀧藏氏

### 天長節の佳辰に 時局軍事大講演

湯本町出身若松大尉が 在郷軍人平町分會で  
在郷軍人平町分會では廿九日の天長節には午後一時からマルトモホールで式典を舉行、出身陸軍大學出の少壯青年將了つて評議員會を開催後祝宴を張り軍國の天長節を誇る管であるが夜は午後六時半から藤田女學校講堂で時局軍事講演會を開催一般の來聴を歓迎するが講師は參謀本部第一課

### 奉祝演説會

立憲正會籌備支部では廿九日午後七時から平町マルトモホールで天長節奉祝演説會を開く

### 愛國旗樹立式

愛國婦人會平町委員區では今開く  
愛國旗一旗を作製したので廿九日の天長節を卜し午前十一時から松ヶ岡公園忠魂碑前に於て之が樹立式を舉行することとなつた

### 各團體と協力し 道路愛護の大宣傳

平監督所の道路愛護デー  
五月一日縣下一齊に行はれる道路愛護デーに平土木監督所では管内各町村三十の道路愛護會、青年團と協力し「道路を愛せませう」の標語入ボスターを主要幹線道路に掲出し管内一回に亘つて五万枚のビラを配する外、縣土木課運送技師が自動車で各町村作業道を巡回廿數箇所を道路愛護主旨徹底の街頭演説をなす管七日検査された

### 南町チーム優勝

白熱の接戦を演じた 分團對抗野球戦了る  
一部昨報「平青年團主催の分團對抗野球試合其の後の経過」は  
南町9A:3 五丁日 胡摩澤22A:4 新川町  
の後、急よ南町對胡摩澤の決

### 市内展望

藤田校修學旅行團  
東京よさよなら!  
黄ばんだ鳥籠のテカ〜したアスファルトを夢中で歩いてグ〜に疲れた体を宿に運んだ、翌朝瀧さんに起されて眼がさめたのは六時近くだつた、眠くても勇気を出してすぐ水で顔を洗つたので少しは眼がさめた様だ、七時近くに朝食をとつ

### 箱崎上等兵 村葬日取決る

同僚の洋服を失敬  
内郷村大字高坂居住朝鮮人金造榮(四七)は去る四月午後十一時頃同居人南光壽所有の洋服を失敬し入費費消したと發覺した

### 金成、石山氏等 絕對無關係と語る

りふ憤慨して本社を訪問  
平町材木町青年分團長金成泉一郎、酒田藤川茂、岩淵中村清一、町會議員石山治三郎等には關係がなかつた由で非常な遺憾を感してあると廿八日日本社を訪れ這間の事情を遺憾に語つて行つた

### 平地方の地震

廿八日午後零時四十分頃平地方に相當大きな地震があり場所によつて時計の振子が止る程度であつた  
試合を後にして四時頃こゝを出て自動車山下館についた、五時頃山下館を出て近所で夕飯を食べて直ぐ上野驛へ向つた、刻毎に集り來る人の群、行く人送る人の心は皆な空ろになつて天井に響く物音が更に旅客の胸に反響する、悲哀と喜悅と好奇心が停車場の至る所に満ち溢れてゐる、刻毎に集り來る人の群、楽しい旅程を終了した私達は今は懐かしい故郷へ歸るべく列車を待つ計りである(上野驛にて……水科生 田部記)

勝戦に入り攻守互に力めて最後の榮冠を争つたが結局南町7……1 胡摩澤で凱歌は南町チームに擧り最初の優勝旗は多田井團長の手から南町軍の手に授與された

平町材木町青年分團長金成泉一郎、酒田藤川茂、岩淵中村清一、町會議員石山治三郎等には關係がなかつた由で非常な遺憾を感してあると廿八日日本社を訪れ這間の事情を遺憾に語つて行つた

### 愛谷堰の改修成りて

#### 上下流歡喜の竣功式

開江の祖澤村水守の徳と共に

銘記すべき努力の諸氏

右城郡愛谷堰は昭和二年の起工以來五十年に亘る改修工事成りて今二十八日清流を滿たす同堰堰の堤畔に喜びの竣功式を挙げた、愛谷堰開江の往時を上ぐれば舊平藩政時代に於ける慶安の頃大旱魃の爲め田面全く水涸れて仕農する能はず農民發炭の苦を救助すべく郡さい澤村勘兵衛爲之れを企請し後水守治右工門その志を繼いで延寶七年春遂に完成するに至つた郡内では同じく勝爲の開江に係る小川江筋と相並ぶ大水利である、改修費は總額二十六万五千圓で全國にも稀と云はれるチャノアン式可動堰に十四萬餘圓を投じ精巧壯麗なる出来栄えは石城名所の一ツとして數へられるに至つた農村疲弊の折柄斯る巨費を抛てる所以のものは開墾後二百五十有餘年を経る従来の固定堰は河勢關係で上流里餘に及ぶ川床の沈砂甚だしく大雨毎に濁水の氾濫に遭ふ沿岸部落の被害と灌溉の便に恵まれる水利組合とが利害相反する結果兩者の間に紛擾堪えざるものあり關係部民の請願を容れられて國庫補助十三万二千五百圓縣補助四万七千五百圓を交付され上流水害豫防組合より七千圓の寄附を受け懸營を以て所記の遂行を見たるものである、工事は主任技師堀左馬氏の設計に係り地元負担の八万五千圓は管理村長阿部瀧藏氏を初め組合員諸氏の熱誠なる指導督勵によつて極めて順調に遂

#### 感謝状を

#### 受けたる諸氏

愛谷堰の改修工事今二十八日の竣功式に於て感謝状を贈られたる諸氏は左の如くである

管理村長 阿部瀧藏  
 工事委員長 青木清太郎  
 工事委員 根本莊橘  
 猪狩 恒吉  
 松崎 恒吉  
 根本 房吉  
 仲田 松之助  
 伊藤 淺之助  
 江尻 彦太郎  
 酒井 久米吉  
 阿部 利助  
 木田 傳平  
 小林 榮八  
 箱崎 淺吉  
 鈴木 留吉  
 木田 隆作  
 鈴木 文十郎  
 渡邊 泰衝  
 計久保 木政直  
 庶務主任 坂本 登  
 事務員 外 五名

味ふて下さいませ

當店の誇を

櫻花の美を作す食堂の裝飾

美しい女給のサービス

居ながらのお花見気分

平驛前 カフェエーケヒラ (電話 六二〇)

是非一度御出下り



(部一の堂食)

ランチ四品付五十圓 五品付定食一圓  
支那料理 ホタン  
電話五七六番

生ビール開始

ビンゾメでありません  
レストラン サロン  
電話三五二番

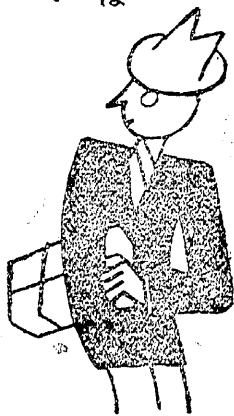
模範裁縫

高島屋洋服店

平町驛前 電話三八六番

冬服の御用命は

高島屋へ



新柄着荷

お子様方入学進級御用意

帽子

靴

下靴 セドンラ

ヤルツ

總革製 七十八錢  
九十錢  
一圓卅錢

自慢の大蒲焼の外に江戸一流の職人を迎へ味と体裁の良い

都壽司始めました

花見辨當 誠實、勉強、配達  
壽司折詰 遠近に不拘迅速

是非一度御試食願ひます

うな 井金 五十錢

平、田町 魚 榮  
電話四二四番

入院應需

明雲堂眼科醫院

平驛前(電話六六九番)  
自炊の便あり

債券、公債、兩替、金融

田多井質店

平町 大工町  
電話 五九一番

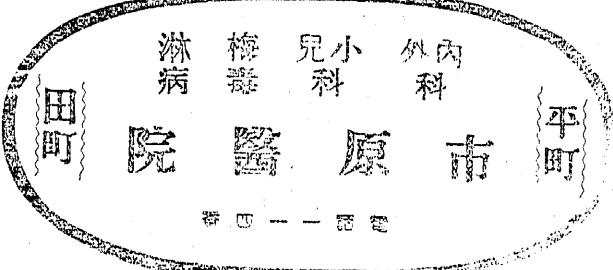
アゲア

幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本藥のみ

肺病、肋膜炎、肺炎カタル等

定價(一圓、四圓、六圓)

特約店 山野邊藥局  
平町五丁目角



外科 小児科 梅毒 淋病

平町 市原醫院

入院應需

藤沼醫院

電話 五〇七番

眞寫

花と博覽會に

御出での御記念

お望みの背景にて

御用命はゼヒ

公園表坂の 三光館へ